

鈴木眞年 まこと 國學・系圖學者。天保二年江戸神田鎌倉河岸生れ、明治二十七年四月十五日歿（八三二歳）。字皇民、幼名房太郎、通稱今井源太、鈴木舍人、源年知良、新田愛氏。號不存、暘谷、松柏、鶴、竹亭。文久元年栗原信光の門に入り、主に系譜の學を學ぶ。慶應元年紀州に招かれ、藩士として系譜編纂に従事。明治二年彈正右衛門轉じて『百家系圖』全六十四冊（明治四年刊）完成。爾後宮内省、司法省、印刷局、陸軍省、修史局、餉部局等に出仕。二十年山縣有朋邸、田中光顯邸、更に文詢社に於いて「古事記」を講じ、翌年帝國大學で重野安釋の下「大日本編年史」編纂に携はる。二十五年大阪に移住、同地で歿す。

著書に『華族諸家傳』全三冊（明治十二年刊）、『皇族略鑑』全二冊（明治二十一年刊）、『裾野の狩衣―曾我兄弟復讐事蹟』（明治二十六年五月十日大阪・積善館）、『古事記正義』（鈴木防人編、昭和十八年九月十五日明世堂書店）等。

